

読書の秋 『あおぞら図書館』

多くの子どもたちで賑わう



9月1日、レ・コードパークで図書プラザ主催による、『あおぞら図書館』が行われました。
天候にも恵まれ、青空のもと、「びつくり箱」による読み聞かせやシャボン玉作り＆あおぞら撮影会が行われたほか、子ども司書によるアニメマール号での本の貸し出しなども行われ、多くの子どもたちで賑わいました。

おじいちゃん・おばあちゃんに

感謝の気持ちを込めて



9月12日～14日にかけて認定こども園ド・レ・ミの園児が、町内4カ所の高齢者施設を訪れ、歌や踊りを披露しました。

訪問先の一つとなったグループホーム「ゆーあい天馬」では、年中組の園児21名が訪れ、ドラえもんなどの踊りなどを披露した後、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に手遊び歌を歌い、感謝の気持ちを伝えました。

秋の交通安全運動

人の波作戦の実施



9月21日、レ・コード館前で、交通安全運動「人の波作戦」が行われました。
この取り組みは、交通安全週間に合わせて年に2回行われているもので、老人クラブや、ライオンズクラブ、建設協会関係者、新冠消防や役場職員などの町民約257名が参加しました。
参加者は「交通安全」の黄色い旗を手に、車が通過するたびに安全運転をドライバーに呼びかけました。

東町老人クラブによる

社会奉仕活動『あいあい荘』清掃



9月20日、東町老人クラブが高齢者共同生活施設「あいあい荘」の窓ガラスと施設周辺の清掃を行いました。
当老人クラブは、毎年9月20日を「社会奉仕活動の日」と定め、毎年清掃活動などを実施しており、この日は、会員約20名が参加し、ブラシで窓ガラスを洗ったほか、レキヤや手作業で落葉を拾い集め、入居者のために汗を流しました。

第36回新冠無縁墓供養法要

先人の慰霊のために



9月18日、判官館霊園内無縁納骨堂前でアイヌの伝統的な儀式である供養祭（イチャルバ）が行われました。
会場には、伝統的な民族衣装を身にまとった関係者や参列者が70名集まりました。
式では、神に神酒を捧げるカムイノミなどの儀式が行われ、昼食の時間には、伝統的な料理が振る舞われたほか、苫小牧アイヌ文化保存会による輪踊りが披露されました。

新冠小学校校下敬老会

カラオケやフラダンスで賑わう



9月17日、レ・コード館で敬老会が開かれ、新冠小学校校下の自治会関係者と高齢者約199名が参加しました。
今年、町内で敬老の日を迎えた75歳以上の方は、828名でした。
この会場では、オールドブルやお酒などが振る舞われたほか、カラオケやカピリフラサークルのフラダンスが披露され、参加者は楽しいひと時を過ごしました。

静内高校2年生

インターンシップ

9月20・21日の2日間、静内高校2年生が手作り工房ミルトをはじめ、新冠温泉、新冠消防、役場などで職場体験を行いました。
不安や緊張も多くあったと思いますが、それぞれの職場で2日間という短い時間、貴重な体験ができ、仕事の楽しさや難しさを感じる

ことができたのではないのでしょうか。
掲載写真は、役場の広報業務を体験した、高校生が撮影した写真を使用しています。

まちの話 題

あれこれ

朝日 吉田 サトさん 100歳おめでとうございます



9月25日、字朝日の吉田サトさんが、平成31年1月1日で100歳を迎えることから、長寿のお祝いとして、内閣総理大臣から祝状と銀杯、また、新冠町から感謝の意を込めて、長寿祝い金が贈呈されました。
吉田サトさんは、100歳とは思えないくらい大変元気で、当日、家族も駆けつけ、長寿を祝いました。

新冠町の活性化のために

立命館慶祥高等学校との調印式



9月28日、役場会議室で新冠町と立命館慶祥高等学校（江別市）が地方創生人材育成制度に関する協定を結びました。
この協定は、同校が新冠中学校からの推薦枠を1名設け、推薦を受けた生徒は当町でのインターンシップなどを通して町の課題を研究発表することになります。
この協定の締結により地域活性化に貢献できる人材の育成が期待されます。

第45回新冠中学校学校祭

仲間と創りあげた最高の時間



9月20日・21日の2日間、新冠中学校とレ・コード館で『第45回新冠中学校学校祭』が行われました。
1日目は、演劇発表、壁新聞、壁面展示、2日目は、吹奏楽部の発表、合唱コンクールなどが行われ、生徒たちは、スローガンである「最高の仲間と最高の景色を」の文字どおり、仲間と協力し合い、最高の舞台で最高の発表を披露しました。

